



とつか 2020年6月会報 第308号

2019 国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)
主 題 “Building today for a better tomorrow”
スローガン “On the MOVE!!” 「さぁ動こう!!」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)
主 題 “Action!” 「アクション！」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)
主 題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 “Innovation with courage, action with heart!”
副 題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」 “Hop, Step and Jump with all Y’smen”

2020 湘南・沖縄部部長(DG) 森田 幸二郎(沖縄)
主 題 「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

クラブ会長 浦出 昭吉 「メネットの支援に感謝し、30周年に向けてさらに仲間を！」
副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進

主題

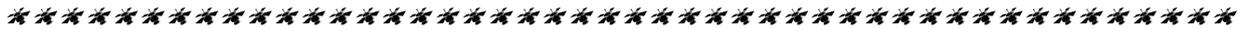
第23回区大会

(北海道・十勝)

は

中止に

なりました



会長ひと言

浦出 昭吉

『会長を終えるに当たり』
い。



会員皆さまのバックアップのお陰で、それこそ大過なく任期を全うすることが出来、心を安んじて若木新会長にバトン・タッチをする時期となりました。今は、多少なりとも自分なりに肩の荷が軽くなった心境です。他クラブの事はよく分かりませんが、4期連続はそうざらにはないのではないかな…と書いてもおります。

私の期に一番の思い出は、何と申してもコロナウィルスの事件でしょう。とにかく自慢ではありませんが、将来、願ひて、世界的恐慌を来した時期に当たった訳ですから「あああの時の…」と鮮やかに甦ること疑いありません。

クラブ行事の関係は、次葉に書かせていただきましたので省きますが、在任中に偶々訪問したクラブの‘総会’に出会い、議事の中で、「自己採点」という項目があり、どうするのかなと思って多少野次馬気分で見えていましたら、会長自身で点数発表をされていたのにはちょっと驚き、思わず彼の顔を注視したことを覚えています。確か、‘75点’と発表があり、会場からは期せずして拍手が沸き起こっていました。その伝でいくと、私自身、あえて申し上げるならば‘70点’くらいかな…と思いますが、いかがでしょう…。何とも言えませんが…。

◎今月の聖句◎

御言葉を直べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。

とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。

—テモテへの手紙二4章2節—

私たちにとり、弱さや恵みを共有することは有益です。自分の弱さを通して他の人々への励ましが生まれたり、自分の受けた恵みによって他の人々にも喜びが届きます。生きて働き、私たちを強めてくださることに感謝します。

強調月間 評 価

会長も「ひと言」で触れておられるように、いよいよ今期一年の締めくくりの月となりました。しかし、皆さん、ご存知のようにいつもの年とは違います…。これ程大きな体験をワイズ、否、全世界の人々が体験したことは、かつてなかったと思います。今期を顧み、その思いを来期に…、今からじっくり考えておく必要があると思います。

私たち一人ひとりが、過ぎ去ろうとしている今期をふり返り、できごとを心に留め、新しいワイズ年度に向け一段と‘人の輪’を広げるよう力を尽くしたいものです。老いも若き(?)も、この際、謙虚に顧みたいものです…。

5月在籍者数			5月出席者数			出席率	ファン ド			CS・TOP・			B A P Y			ロ		バ	
メ	ン		メ	ン			他	B	F	B	F	A	S	F	(円)	ロ	バ	(円)	(円)
13			0			0%													
メ	ネ	ット	8	メ	ネ	ット			0		0	50,000			0			0	0
				ゲ	ス	トラ			0		0	0			0			0	0
計	21		合	計		0			0		0	50,000			0			0	0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

☆1年を振り返って…☆

浦出 昭吉

4期目の会長をさせていただき、間もなく、若木一美さんに引き継ぐ時期となりました。昨年5月にはクラブ設立25周年記念式も執り行い、会長として、「これに勝るモノなし」の体験もしました。其れもこれも、会員諸兄のキメ細かなご配慮の賜物と深く々々感謝している処です。さて、前置きはこれくらいにして、今期、下欄にも載っておりますように、いくつかのポイントとなるような活動がありました。ほかに、ブリテン冒頭の「会長ひと言」を前期から「会員ひと言」に改め、全会員様からの「ひと言」を載せさせて頂くようにしました。案の定、大変有益なご意見・ご感想が載るようになり、ブリテンの「社説」に相応しい読み物となっております。

以下、暦の順に申し上げます。先ず、年度初めの第1例会は、総会と部長公式訪問で幕が開きました。私になって、部長訪問は常にイの一番をお願いし、7月に実現しました(写真)。

また、第28回アジア太平洋地域大会が7月19日～21日、杜の都・仙台で開催され、有田さんが参加されました。

10月は久しぶりの卓話が、東京西クラブの吉田さんの肝いりで、映画評論家の青木勝彦氏を迎えて開かれ、出席者全員に、300頁の豪華装丁本「私の追憶の名画」が贈呈されました。

11月は、恒例、横浜YMCAのチャリティーランとY祭、いずれも、好天に恵まれ、それなりの成果を挙げました。➡

年末には、恒例「年忘れ納会」を「かしお」で開催、席上加藤ご夫妻に花束を贈呈し、日ごろの労を讃えました(写真)。

さて、緑で囲った部分は、加藤ワイズ肝いりの「特別寄稿」を毎月頂いた方のお名前です。18年7月から始められ、今月で24名になりました。いずれもY・ワイズのベテラン、一読、知見も広まり、「Change! 2022 ニュース」にも転載されました。

来期も「乞うご期待」ですね。



【特別寄稿を頂いた方】

- 19. 7月: 森田幸二郎さん(‘91-’92 部長・沖縄)
- 8月: 鈴木 茂さん(元区監事・横浜つづき)
- 9月: 中田靖泰さん(札幌) …Change! 2022・4号掲載
- 10月: 藤井寛敏さん(元国際会長・東京江東)
- 11月: 大野 勉さん(元区理事・神戸ポート)
- 12月: 栗本治郎さん(元区理事・熱海)
- ’20.1月: 小原武夫さん(元区理事・東京世田谷)
- 2月: 青木一芳さん(千葉) …Change! 2022・9号掲載
- 3月: 駒田勝彦さん(元区理事・甲府21)
- 4月: 大野嘉宏さん(元区理事・京都パレス)
- 5月: 島田 茂さん(元同盟総主事・とやま)
- 6月: 山根誠之さん(元横浜YMCA 総主事)

『区に提出のクラブ活動年次報告』から(要旨)

① リーダーとの交流会の開催

2019.12.7・18:30~20:30・湘南とつかY
YVLF 参加者報告も兼ね、例会の席上22名のリーダーを招き、交流会を開催した。



② YMCA 幼児サッカー大会支援

2020.2.16・横浜市舞岡センター体育館において、2回目となる戸塚・鎌倉・東戸塚の3YMCAから選出の22名の幼児が参加、鎌倉クラブと合同で、支援した。



③ 幼児絵本点字図書館創設団体「ユニリーフ」への支援

2008年(部は09年)以来支援を継続中、先頃総理大臣表彰に輝いた。関係のURLは以下のとおり。

<http://unileaf.org/6423>

④ メネット事業

2019年9月、沖縄クラブから贈られた幼児絵本の贈呈式後、YMCA 幼稚園でメネット達が「読み聞かせ」を行った。



☆今、ワイズでは…☆

加藤 利榮

猖獗を極める新型コロナウイルス感染症「COVID-19」の対応に、ワイズ国際協会も緊急支援に乗り出すなど、国際に連なる私たちも何かとチエを絞る今日この頃です。

4月半ばに山手クラブの浅羽さんの呼び掛けに始まった「つながりマスク」、宇都宮の大久保さんらが直ちに賛同され、それならひと足お先にと熱海の栗本さんら有志が早や実行済みとか…、この現実に呼応して、「それならば…」ということから、我が社エクステンション委員長の部挙げての「つながり」宣言に委員の千葉裕子さん(鎌倉)を始め何人かの有志がすぐさま反応、今や女性中心に「マスク作り」が…。

そして5月24日(金)16:30~18:15、委員長召集のZOOM会議が開催され、当方は、孫の手を借りながらも何とか参加者の一員に加えていただき、参加のとつかクラブ瀬戸俊孝担当主事から、労作の配布関係を湘南とつかYMCAが仲介の労を取る経緯などの説明がありました。また、アフター・マスクの候補は…ということで、大久保さんご提案の「フェイス・シールド」などが議題に…、その図面や型紙なども席上示され、「マスク」のお次は「フェイス」で…と、その活動範囲を延ばしたい委員長の気持ちが伝わってきます。いずれも5月14日付で配布のアジェンダに沿ってZOOM会議は極めて順調に進められました。

なお、今回の『働き手』は「千葉さんら女性軍で、男性軍は裏方として…」と結ばれ…、私も裏方の一員に…。

【特別寄稿】

☆久しぶりに時間に追われない生活が☆

元横浜YMCA 総理事 山根 誠之



本年3月末で、学校法人横浜英和学院の理事長を退任しました。これからも年に数回、理事として横浜での会議出席は残ります。2014年から常務理事、理事長としての6年間は、月の半分を横浜で過していましたが、今は、熊本で久しぶりに時間に追われない生活をしています。

横浜YMCAを退職した2011年の12月から3か月間、韓国・光州市にある国立全南大学で、韓国語の初級講座を学ぶことが出来ました。かつて、日本が当時の朝鮮を植民地として支配していた時代、創氏改名と日本語を強いた事を思うと、せめて自分に出来るのは、韓国に行き、現地の人々と交わりながら、韓国語を学ぶ事ではないかと思っていたからです。

ホームステイをし、バスで通学の日々でしたから、人々の高齢者を労わる温かい心に触れながら、充実した学びと交わりが出来ました。もう9年前の事で、学んだ事も忘却の彼方にありますが、自分の自由な時間をこんなに楽しめた事は嬉しい事でした。

さて、今回の退職後、自由な時間で何をしようかと、まずは手始めに、熊本県立大学の社会人公開講座で現役学生と一緒に学ぶ韓国語中級講座を申し込みましたが、コロナ騒ぎで本年は開講中止という事になりました。

…という訳で、外出もままならない今は、自宅の庭の手入れが主な仕事です。この前、刈り取った草が1週間もすると、あっという間に勢いよく緑の芽や葉を、いとも誇らしげに見せてくれます。参った、参った！…です。また、これまでやっていたことがなかった‘松のみどり摘み’にインターネットを見ながら、取り組みました。～みどり摘み ひりひりりと 風の吹く～です…。そして、コロナ終焉後、これからは何をやろうかな…と、胸をワクワクさせているところです。

(山根誠之様 素敵な原稿を有り難うございました。)

あんじゅ通信

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬 良文



4月7日に緊急事態宣言が発出されて、「スティ・ホーム」が毎日のように聞こえてきます。ワークサポートセンターは「障害福祉サービス」というカテゴリーに分類され、「継続要請事業」となっています。活動時間を短縮しながら休みなく活動を行っております。

パンの売り上げは、世の中と同様に9割減と厳しくなっていますが、お店にいらっしゃるお客様は2割増しとなっています。小さな店舗では、馴染みのお客様が日々召し上がるために、お買い上げくださいます。混雑も無く、安心な焼きたてのパンを求められるお客様に、感謝の気持ちが溢れます。地域で必要とされていることを改めて感じる事ができます。利用(通所)の方も短縮期間の参加率が高まっています。自宅で独りで過ごすより出勤して仲間と過ごすことに喜びを感じているのだと思います。与えられた「場」が多くの方のために活かされるよう、活動を続けていきたいです。(写真:飛沫防止フィルム越しに…)【5/21記】

初夏随想

～今を謙虚に…～ 岡 進



新型コロナは貴い人命をはじめ、経済から個々人の行動まで、社会に大きな痛手を与えている。…と同時に、これまで覆い隠されていた、あるいは見え隠れしていたが、我々がしかとは認識していなかったもの、見ないようにしていたもの…を顕在化させている。

借入金に頼って事業拡大してきた企業の危うさ。

これからの地球にとって大きなリスクは戦争、自然災害に加え感染症と言われていたのに、十分に対策してこなかったこと。

格差と分断。社会的に弱い立場の人たち、例えば非正規雇用の人たちの生活の不安定さ。

そして個々人の行動や意識に大きな差があること。

リスクを認識する人、全然意に介さない人。

社会の要請に応え自分の欲求を抑制する人、できない人。不用意な行動をする人と

それを非難する人。

更には、それぞれが自分が思う正しさに固執し、違う見方・意見・行動を否定・非難する傾向が強まっているように感じる。客観的な批判と不寛容は紙一重だろう。

一方で心温まる事象も多い。

医療従事者を応援する動画、困窮する店舗を支援する草の根の活動。

ゴミ収集作業員に対する応援メッセージ。

このように世の中は様々な様相を呈している。

この変化、新常态に相対してYMCAは社会、人々に貢献し支援するために、どのような形で事業展開していけばよいのか。それを支えるワイズはどのようなのか。

YMCAは素晴らしい。しかしその強い思いが世の中の多様な考え・見方を排除しないように、謙虚に考えていきたい。 以上

☆来期のクラブ活動☆ 若木 一美



次期会長予定者の若木です。みなさん、顔を覚えてますか？ 本当にご無沙汰しています。

さて、4・5月号に事業予定・役員・主題、いずれも原案を掲載させていただきました。主題「咲かそう人の輪」、密です！…と、某女史に怒られそうですが、私たちの活動の原点だと思えます。次世代は‘オンライン飲み会’ですが、ビー玉・メンコ・石けり・かくれんぼ・紙芝居…世代の私達は「人の輪」ですよ…。正に「密です！」

事業はほぼ例年どおりといたしました。一つ違うのは「湯ったり、湯ったり河津桜ツアー」です。伊豆高原に宿泊して、美味しい料理を肴に四方山話に花を咲かせ、温泉に湯ったり、そして、河津桜と美男・美女でうっとり「目の保養」です。

12月のリーダー研修会では、元YMCAのキャンプ場にいた方(元横浜市立学校の校長先生です。)を呼んで、私達と彼らの活動を通して、東日本区が力を入れている会員増強のぼんやりとした何かが見えることも期待して開催したいと考えています。

5回目となる予定の会長をぜひお支えください。

～再開に向けて～



5月25日、全国的に緊急事態宣言が解除されました。4月7日に全国に発令されて1か月半ぶりの解除、神奈川県は最後の最後まで感染者が減らずにこのままで大丈夫なのか?…と不安が残る現状です。

先週末(5月23日)の私の地元藤沢・江ノ島付近では、宣言解除前だということに多くの人たちで賑わっていました…。このままで大丈夫なのか?…と不安を覚えた直後の解除で、今は心配しかありません。

しかし、いつまでも心配ばかりしては前に進めません。これからは「新しい生活様式」を受け入れて、いろいろ考えていきます。この騒ぎが始まる前は、担当するスポーツクラブは憩いの場、笑顔が絶えない、元気な象徴…のように言われてきました。しかし、最初にクラスターとなり、現在のスポーツクラブはまるで患者のように報道で扱われます。私たちは、YMCA 健康教育部として、スポーツを通して心身ともに健康な人を創るという使命のもと、「新しいスポーツクラブ」「新しいYMCA」を作っていくしかありません。

現在(5月25日)、6月1日からの再開に向けて大幅にルールや使用方法を変えて会員を迎え入れる準備をしています。今までどおりとはいきませんが、丁寧に準備をして安心・安全な環境づくりをして、また一日も早く皆さんの笑顔で溢れるYMCAに



なるように頑張ります。ただ、みんななマスクをして迎えますので見えにくいかもしれませんが…、マスクの下は笑顔でお待ちしています。
※写真は、今あるマスクたちです。色々と種類も増え、また、近くワイズの「つながりマスク」も入荷?…の予定です。

☆今月の歳時記から☆

‘螢ほたる’と‘田植たうえ’

‘螢’、初夏の夜、水辺に光りながら飛び交う螢は美しい。その神秘的な光は宇治の螢合戦などいろいろな伝説を生んだ。腹端に複雑な発光器があり、熱を伴わない冷たい光を発する。語源は「火垂る」「火照る」「星垂る」「火太郎」など‘光る’と関連する。小型のを平家螢、大型のを源氏螢といい、また山地には姫螢がいる。五月末から六月が盛りと言われている。

草の葉を落るより飛ぶ螢かな	芭蕉
大螢ゆらりゆらりと通りけり	一茶
人寝ねて螢飛ぶなり蚊帳の中	子規

次に‘田植’、田植はふつう六月上旬から七月一、二日ごろまでに行われる。最近、農村も機械化が進んで、以前の様に、村落総出で田植歌を歌いながら苗を植えるような風景は見られなくなった。四国や九州では「さのぼり・早苗饗」といって、田植の終わった夜に手伝いの人々を呼び、酒を出しご馳走を作り、赤飯を炊いて無事に田植えが終わったことを祝う。

勿体なや昼寝して聞く田植唄	一茶
みめよくて田植の笠に指を添う	誓子
上がりくる田植機は泥したたらせ	みどり



(午)

(現時点(5/27)では6月の会合は一切中止の予定ですが、7月は、以下の会合を予定をしています。

変更等になる場合には、予めご連絡申し上げます。)

- > 7/4 (土) 第1例会(総会)・湘南とつかYMCA/18:30
- > 7/27 (月) 第2回湘南とつかYMCA 運営委員会/18:30



～Happy Birthday～
鈴木 ひろ子さん 6月15日

【掲示板】

会長

◎ 7月の会合について

久方振りの会合は、新年度第1例会になります。

- ① 当日は「総会」になります。
- ② 古田和彦部長(横浜)が公式訪問されます。
- ③ UniLeafの天下利栄子代表が出席されます。
- ④ 鎌倉クラブと合同例会の予定です(確認中)。

◎ 浦出会長に感謝(この項:吉原直前会長より)

浦出会長様、4期にわたり会長としてクラブを盛り上げ、また私たちを導いていただき、心より感謝申し上げます。以下、箇条書き的にその一部を列挙させていただきます。

- ① 湘南とつかYMCAとの一層の協働の成果が各処に表われました。(例、チャリティーラン・Y祭・幼児サッカー・若者との交流会・UniLeaf支援等々)
 - ② 25周年記念式典の開催とクラブ年史の作成
 - ③ ブリテンの「会員ひと言」特別寄稿の定着
 - ④ クラブ内の融和・交流の結果、区から‘ノン・ドロップ賞’(EMCの‘C’賞)受賞ほかに
- どうぞ今後は直前会長として私たちをお導きください。

◎ ユニリーフの動きについて

- ① とつかクラブが2008年以来支援するUniLeafの大下様から「…目の不自由な娘と旅先で思うことは、由緒あるお寺の一部に触れるだけで、全体のレリーフが有れば尚更…で、‘ユニバーサル’の観点からも…」とメールが入り…、現在、何人かのメンバーに呼び掛けております。
- ② 視点を鎌倉の寺院『仏像』に絞り、当面、岡さんが対応されていますが、もしお心当たりの方がおられれば、加藤書記までご連絡願います。【☎ 045・802・4500】
- ③ 7月例会の時に、更に具体的にお聞きしましょう。

◎ 「今、ワイズでは…」(2面)から…(この項:加藤ワイズより)

ZOOM会議の様子をワン・ショット…、私にとり貴重な1枚になりそうです。



～瀬戸担当主事
ご提供～

(後記)

‘入梅’‘夏至」といった暦の文字が今更ながら懐かしく響いてくる今日この頃です…。さぁ そろそろ先も見えてきて…。

REMEMBER! … ‘Change! 2022’

(T/V)